

民話題材の紙芝居 図書館が貸し出し

年 組 番 名前

伊那市高遠町図書館は、地元には伝わる民話を題材に紙芝居を作りました。見てくれる子どもたちに分かりやすいように、さまざまな工夫をしています。関係者は、どんな思いで、どんな紙芝居に仕上げたのか、記事を読んでみましょう。

① 紙芝居の題材にしているのは、何という民話ですか。

② 紙芝居は、何を育もうと考えて作ったのですか。

③ 大日方章さんは、何を基に物語を構成しましたか。また、子どもにも分かりやすいよう、言葉を具体的にどう変えましたか。

④ 市川みづきさんは絵を描く際、何を意識しましたか。また、何を感じてほしいと話していますか。

⑤ あなたの周りに伝わる伝承や民話を探してみましょう。

高遠への愛 紙芝居で育む

伊那 民話題材 図書館が貸し出し



完成した紙芝居「お膳岩」を手にする
大日方さん(左)と市川さん

伊那市高遠町図書館が、地元で伝わる民話「お膳岩」を題材にした紙芝居を作った。高遠高校(伊那市)で国語を教える大日方章教諭(64)が子ども向けに物語を書き直し、同館職員の市川みづきさん(38)が絵を担当。子どもたちの郷土への愛着を育もうと考えた。21日に市立伊那図書館でお披露目を開き、同日から両館で貸し出す。

お膳岩は、同市高遠町の国道152号白山トンネルの南側にある大きな岩。寄り合いなどでお膳やおわんを使うと

伊那市高遠町図書館が、地元の民話「お膳岩」を題材にした紙芝居を作った。高遠高校(伊那市)で国語を教える大日方章教諭(64)が子ども向けに物語を書き直し、同館職員の市川みづきさん(38)が絵を担当。子どもたちの郷土への愛着を育もうと考えた。21日に市立伊那図書館でお披露目を開き、同日から両館で貸し出す。

お膳岩は、同市高遠町の国道152号白山トンネルの南側にある大きな岩。寄り合いなどでお膳やおわんを使うと

絵を意識した」と話す。高遠町図書館が地元の民話を基にした紙芝居作りは、2019年に作った「龍勝寺山の姫小松」に続く2作目となる。伊那図書館でのお披露目は21日午前11時からで、市川さんは「紙芝居をきっかけに高遠の良さを感じてほしい」と話している。

(2021年2月19日朝刊・飯田伊那面)

民話題材の紙芝居 図書館が貸し出し

解答例

年 組 番 名前

伊那市高遠町図書館は、地元で伝わる民話を題材に紙芝居を作りました。見てくれる子どもたちに分かりやすいように、さまざまな工夫をしています。関係者は、どんな思いで、どんな紙芝居に仕上げたのか、記事を読んでみましょう。

① 紙芝居の題材にしているのは、何という民話ですか。

【解答】 お膳岩

② 紙芝居は、何を育もうと考えて作ったのですか。

【解答】 子どもたちの郷土への愛

③ 大日方章さんは、何を基に物語を構成しましたか。

また、子どもにも分かりやすいよう、言葉を具体的にどう変えましたか。

【解答】 地元の歴史や民話などを収めた郷土資料

伝承に出てくる「寄り合い」を「結婚式」に変えるなどして

④ 市川みづきさんは絵を描く際、何を意識しましたか。また、何を感じてほしいと話していますか。

【解答】 ぱっと見て物語が入ってくるよう親しみやすい絵

紙芝居をきっかけに高遠の良さを感じてほしい

⑤ あなたの周りに伝わる伝承や民話を探してみてください。

【解答】 略